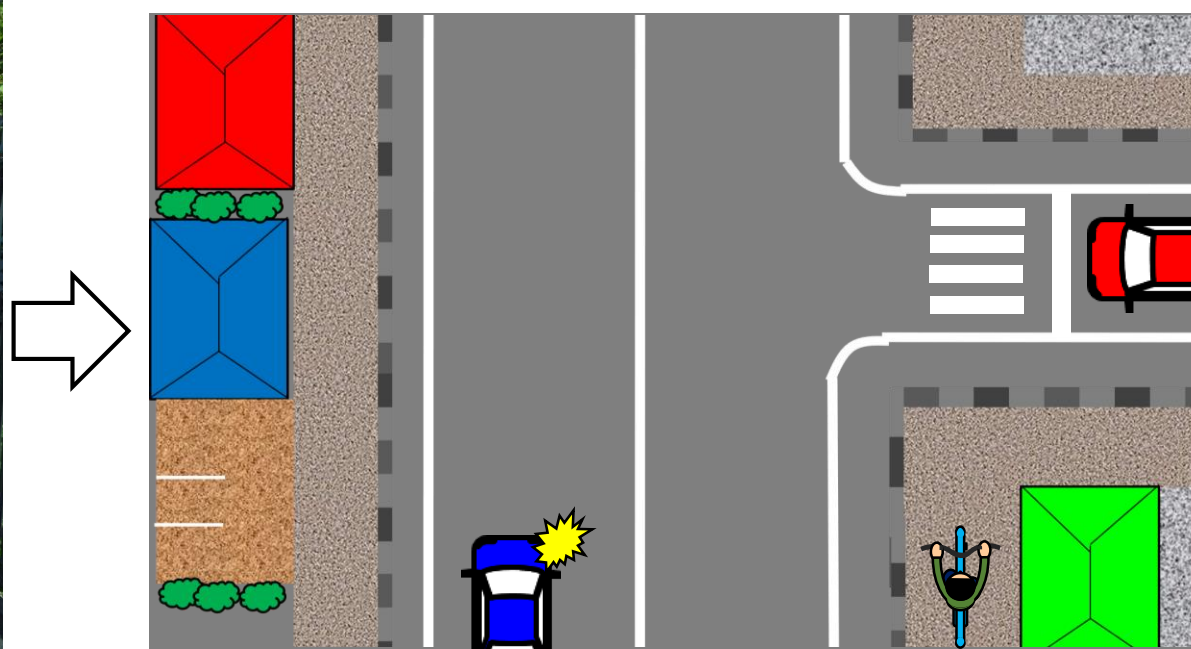
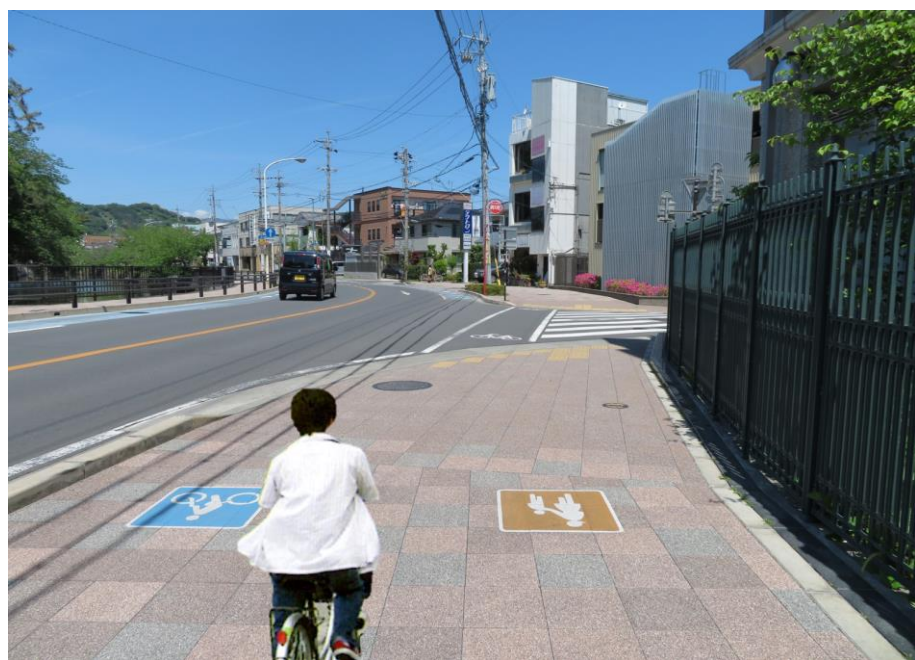


☆解説☆ 交通状況に対する適用力を養う（危険予測トレーニング②）

脇道の通過：歩道通行中に多い、自転車事故のパターン。

あなたは普通自転車通行可の歩道を走行しています



【考えられる危険はなんですか？】

前方に狭い交差点、右に建物があり見通しが悪い状況。

右の脇道から進行してくる車・自転車・歩行者と衝突する危険が考えられる。後方から脇道へ曲がってくる車との衝突。

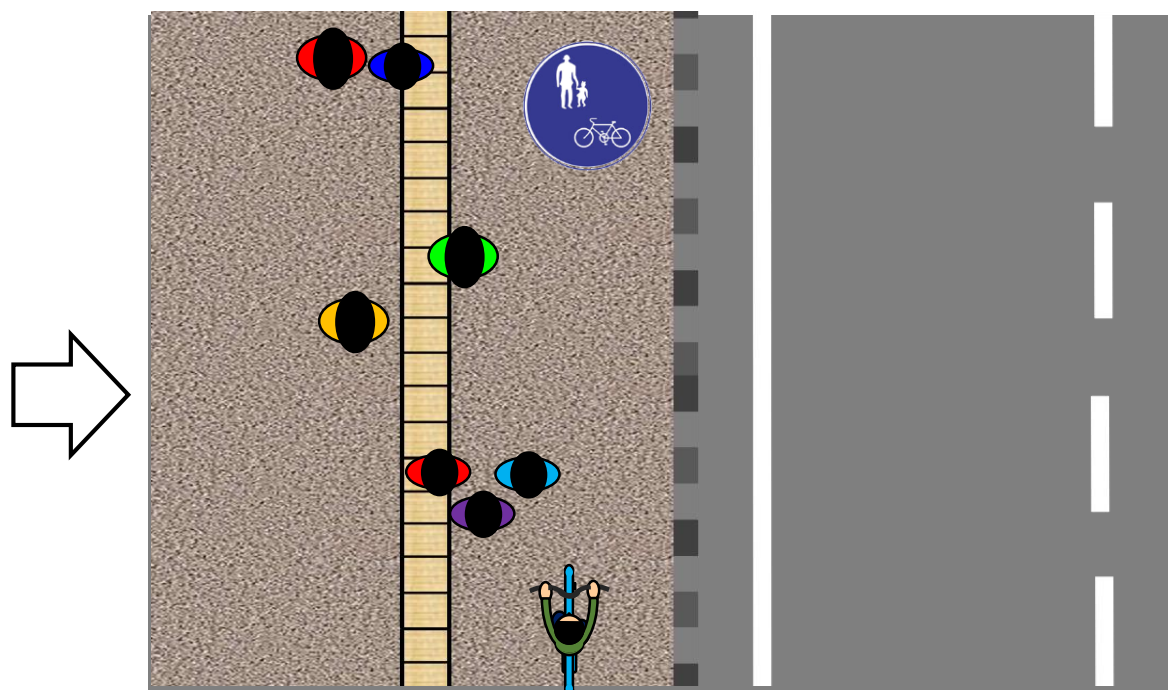
【どんな運転をしたらいいですか？】

普通自転車通行可の歩道を通行する場合は、歩道の中央から車道寄りの部分を徐行しなければならない。

脇道から出てくる車両等や後ろから脇道へ曲がってくる車両を予測して通行する。

歩道走行：自転車が通行可能な歩道では自転車が加害者になる事故も発生している。

あなたは沢山の人が歩いている普通自転車通行可の歩道を走行しています



【考えられる危険はなんですか？】

道路標示により普通自転車が通行すべき部分が指定されている。歩道を沢山の人達が通行しているという状況。

歩行者が急に自転車の前に出てきた場合に歩行者と衝突する危険が考えられる。（その他として歩行者を避ける際に他の自転車との衝突も考えられる。）

【どんな運転をしたらいいですか？】

普通自転車歩道通行部分の指定があるときは、その指定部分を徐行しなければならない。ただし普通自転車歩道通行部分を通行し、又は通行しようとする歩行者がないときは、歩道の状況に応じた安全な速度で通行できる。

歩行者の動きを予測し、間隔を保ちながら十分注意して運転をする。